

## 多様な人財のワーク・ライフ・バランス実現に向け テレワーク(在宅勤務)を推進

### COMPANY PROFILE

- ・創業/昭和20(1945)年
- ・業種/食品加工事業、水産・畜産事業、低温物流事業など
- ・従業員規模/3001人以上
- ・HPアドレス/<http://www.nichirei.co.jp>

(平成20年3月現在)

### ニチレイグループ

働き続ける中では、ライフスタイルの変化に合わせて働き方を変えたいという人も多い。特に子育てや介護など家庭の事情で働く場所や時間を柔軟にしたいと望む社員は増えている。加工食品事業、低温物流事業などを主力とするニチレイグループでは、優秀な女性社員が出産を機に退職を申し出たことをきっかけに、平成15(2003)年よりテレワークプロジェクトを発足し、グループ会社を対象に働く時間と場所が選択できる在宅勤務(以下「テレワーク」という)の定着を模索している。

### 獲得できたのは仕事の効率とワーク・ライフ・バランス

完全在宅をしているAさんの業務は、営業管理システムの企画・開発ならびに営業業績管理とシステムのフォローである。携帯電話やパソコン、業務に必要なソフトなど会社から貸与された機器を駆使して、日々、日報データベースに書き込みを行い、勤務状況を報告する。完全在宅とは言ってもやはり、フェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションが重要であるという認識に至ったため、週一回は出社してグループミーティングに参加する。それでも通勤に往復4時間かかっていたAさんにとって、在宅勤務は大きなメリットだ。休憩時間を家事に回したり、子どもの学校の緊急連絡も即時に受けられ、地域活動にも参加することができる。仕事面では集中力が増し、営業からの問い合わせにも迅速な対応が可能になるなど、生産性が向上した。また在宅ということで日々の成果を意識するようになり、より計画的に仕事ができるようになった。一方、休日でも仕事ができるため休日感覚が薄まったり、残業という概念が曖昧になりやすいなど、時間に関わる課題は残っている。また、コミュニケーション面にもやや不安を感じることもある。

### 試行錯誤しながら、使いやすい制度を作りあげる

同グループではこのような試行実施を踏まえテレワークに適した業務を次のようにまとめている。①対面によるコミュニケーションを必要としない業務(データ入力等) ②自己完結型の業務(企画書・報告書・デザイン作成等)、 ③成果評価を客観的に行いやすい業務(計画を立てやすく進捗のチェックをしやすい業務) ④集中力を必要とする業務(一定期間内に単独で集中して行う必要性のある業務)

また、実際の運用においては、ネットワーク環境の整備や情報管理などの課題をクリアしながら、在宅勤務の指針を策定していった。在宅勤務の指針では、その利用目的と対象を設定しているほか、時間管理面では所属部門と同一またはみなし労働時間制を取り、始業・終業時にはメール等による報告を義務付けている。評価と処遇については、事業所勤務社員と同一に扱い、目標管理制度を適用している。情報管理については、同指針に守秘義務やセキュリティ関連規定の項目を設けている。ネットワーク環境整備の費用負担、光熱費、消耗品といった諸経費の負担についても、在宅勤務のトライアルを通じて気づいた課題であり、指針へ盛り込んでいった。さらに、完全在宅だけでなく、部分在宅のトライアルも進め、週1日在宅や午前・午後の半日在宅など、様々な形態を試行している。

### テレワークは将来に向けた大きな戦略の1つである

ニチレイグループでは、平成12(2000)年以降女性の採用比率が約30~40%を推移し、女性管理職比率も5%に達するなど社内における人材の多様化が進んできた。そんな中、平成16(2004)年~平成18(2006)年には約30社の企業からなるワーク・ライフ・バランス塾に幹事企業として参画し、平成17(2005)年の分社化を機に、グループ間でワーク・ライフ・バランス施策を推進するワーク・ライフ・バランスセンターも設置した。担当者の(株)ニチレイプロサーヴ人事サービス事業部 採用・教育グループ伊勢谷さんは「平成10(1998)年に、創業以来初めて赤字決算を喫したニチレイグループにとって、優秀な人財の獲得と育成、定着は必要不可欠です。多様な人財が働きがいを実感できる職場づくりに向けて、課題はまだありますが、社内の多様性が進めば進むほど、幅広い選択肢が必要となるはず。その時のために今からの準備が必要なのです」と語ってくれた。テレワークに関心をもつ企業は多いが、導入となると様々な課題があって二の足を踏む企業も少なくない。ニチレイグループも試行錯誤を続けながら、課題を一つひとつクリアして、定着に努めているところだ。